

### 令和元年度 地域発 元気づくり支援金事業総括書

事業名	雪エネルギー推進事業
事業主体 (連絡先)	飯山市 飯山市大字飯山1110-1
事業区分	(8) その他地域の元気を生み出す地域づくり
事業タイプ	ソフト
総事業費	871,376円 (うち支援金: 697,000円)

#### 事業内容

現在、雪室として利用している施設にて温度湿度の管理や、雪室内での商品の管理を行い、商品等の味の変化、出荷時期の延長など雪室効果を実証しながら、同施設内で熟成した商品等をPR販売。また、雪室自体のPRなども行った。

- ①雪だるま財団視察。令和2年6月12日  
内容：雪室ブランド商品の構築について
- ②雪室内スペース有効活用のための環境整備。  
(商品等を効率的に保管する為の備品購入)
- ③雪室の修繕：風除室内の結露対策のため、簡易風除室天井の修繕。
- ④米の有利販売のための劣化検査の実施。
- ⑤PR用のパンフレット・プロモーションビデオを製作。



【雪だるま財団視察】

#### 【目標・ねらい】

- ①雪エネルギーの活用
- ②地域の農産物、商工品目の有利販売。
- ③未利用市有施設の活用

#### 事業効果

※地域活性化のための目標・ねらいに対してどのような効果があったか、項目毎に記載すること。

- ①先進地を視察する事で利用者（農産物生産者）の雪室活用についての意欲が増進した。参加者14名
- ②かご台車（移動できる台車）を8台導入することにより、これまでより効率的に搬入出が可能となった。また、雪室内スペースの有効活用が出来た。
- ③風除室上部が結露によりカビが発生していたが、防かび・結露対策を行い、室内環境が改善された。
- ④有利販売を目途に米の劣化について数値による検証を行い、わずかではあるが保管環境による変化を見ることが出来た。
- ⑤製作したプロモーションビデオ、パンフレットにより、「自然エネルギーを活用した雪室」のPRができた。

#### ※自己評価【B】

#### 【理由】

PRイベントが実施できなかったことで、予定していた効果が一部得られなかったが、計画を見直しPR資材の作成、雪室内のスペースの有効活用のための取組を行い、利便性の向上を図れた事により、参加事業者、在庫量の増を見込めるようになった。

#### 今後の取り組み

※今後、事業効果をどうつなげていくか記載すること。

本年度は東京でのPRイベントを二回企画したが、二回ともがそれぞれ、台風第19号、新型コロナウイルス対策の為、準備したにもかかわらず、直前にキャンセルせざるを得ない状況になった。来年度は東京でのPRを実施したい。また、スペースを有効活用出来る取組を行ったので、雪室の量的活用については、昨年に比べ4トン分の収容能力が増えており、来年度はこれを使い、本事業への参加者数と商品の在庫数を増加させていく。

※自己評価欄は、地域活性化に及ぼす事業効果について、以下から選択のこと。

「A」：予定を上回る効果が得られた 「B」：予定していた効果が得られた

「C」：一定の事業効果はあったが事業実施方法や今後の活用等について、工夫や改善を要する点がある